

「人とふれあうことが好き…」



12月26日(月)

あおぞら太陽の家で作業体験

久しぶりにあおぞら太陽の家(山崎町岸田)を訪れた。作業所に入ると、山崎西中2年の森裏聖那さん(東鹿沢)と小林愛美さん(庄能南)が利用者みなさんといっしょに食品関係の梱包作業の真っ最中…。「今日は一日体験で太陽の家に来ました。人とふれあうことが好きで(森裏)」「校長先生の呼びかけで参加しました。作業は思った以上に大変です(小林)」と、初めての作業に戸惑いながらも、一生懸命取り組んでいる姿が印象的でした。時間とともに利用者みなさんとも意気投合。森裏さん、小林さん、今日の経験を勉強や部活にぜひ活かしてください。(本部・一宮支部 波多野好則)

施設と一緒にできること!

広い施設内を迷子になりながら70名が窓ふき作業



12月14日(水)

まどか園で奉仕作業

まどか園(一宮町福知)で一宮ボランティア連絡協議会による清掃奉仕作業が行われた。

年末年始に向けて、地域の福祉施設のお手伝いをしようとボランティア70名が集まり、窓ふき作業を行った。

参加者からは、「近くにある施設でも行くことはなかなかないので、いい機会になった」「このような施設との交流はとていいこと。また参加したい」などの感想があった。

副会長の庄一幸さんは、「忙しい時期にも関わらず、声をかけるとこれだけの人数が集まってくるといのは本当に素晴らしいこと。今後はボランティア連絡協議会として、まどか園のイベントや行事にも協力していきたい」と話されました。

(本部・一宮支部 田中祥仁)

ボランティアセンター日誌

今年で42年! みんなで楽しいクリスマス

サンタクロースから
素敵なプレゼント



グループ代表の片山昭悟さんは「中学生がボランティアに来だしてもう10年以上。参加者と交流したり、いろいろな出し物をしてもらい本当にありがたいことです。中学生のみなさんには何より今日の出会いを大切にしてほしい。それが山の子グループの願いであり、このつどいを続けていくことが使命です」と熱い思いを話されました。

もみの木のつどいが始まって今年で42年。みんなが楽しめるつどいが今後も続いていくように山の子グループのみなさん、がんばってください。

(本部・一宮支部 田中祥仁)

12月10日(土)

山の子グループ もみの木のつどい

ボランティア「山の子グループ」による「第42回もみの木のつどい」が宍粟防災センターで開催され、市内の障がい者22人と家族が招待された。

また、ボランティアとして同グループのメンバーのほか、山崎の4つの中学校から生徒38名が参加。餅つきやおもちゃ作りで参加者と交流し、ソーラン節やゲームなどの出し物でイベントを盛り上げた。

サンタクロースになった山崎南中学校3年片山徳仁君は「障がいがある、ないに関係なくみんなで楽しめてよかった。またこのような機会があれば参加したい」と感想があった。



女神様から
キャンドルサービス

読者の
感想より

今は、ボランティアもできませんが、いつか人の為になんか出来ることを思っています。今は仕事ばかり…。(一宮町 女性)